

▶ スコアボード ◀

第97回天皇杯全日本サッカー選手権大会 3回戦  
 7月12日(水) 19:00 K/O ニッパツ三ツ沢  
 横浜F・マリノス 対 アスルクラロ沼津

YOKOHAMAビーチサッカー2017 金沢海の公園  
 8月5日(土) 小学生男子の部・女子の部  
 8月6日(日) 一般男子の部・女子の部



発行編集 一般社団法人横浜サッカー協会  
 同 広報委員会  
 〒222-0033  
 横浜市港北区新横浜2-6-3  
 DSM新横浜7F  
 TEL(045)474-4315 FAX474-4316  
 http://www.yokohama-fa.or.jp  
 印刷 神奈川新聞社  
 〒231-8445 横浜市中区  
 太田町2-23  
 TEL227-0739 FAX227-0785

# 全力でゴールめざせ!!

横浜F・マリノス,  
 横浜FC,  
 Y.S.C.C.,  
 日体大FIELDS横浜,  
 ニッパツ横浜FCシーガルス  
**“横浜サッカー活性化”の  
 原動力に...**

モンバエルト監督3年目の今季は、新外国人としてFWウーゴ、MFバブンスキー、DFミロシユが加入。今シーズンから背番号10を背負う斎藤学が、新キャプテンとしてチームを牽引する。

昨シーズンから成長が著しいFW富樫、MF天野、前田遠藤などの若い力も加え、さらに運動性のある攻撃力の

アップを目指す。16節終了で5位につける。首位と勝ち点差を5と、直近リーグ戦6試合は5勝1分けと負けなしの勢を保ち、上位進出を狙う。

サッカーを始めたのは、小学生の二人の兄が地元の少年

## 運動性ある攻撃力で 横浜F・マリノス

シーズンたけなわ。我が横浜の5チームは全力で戦っている。J1リーグでは横浜F・マリノスが新体制のもとタイトル獲得を、J2リーグの横浜FCはJ1昇格へ。Jリーグに参戦して4年目を迎えたY.S.C.C.は上位を目指してと、熱い戦いを繰り広げている。なでしこリーグでは日体大FIELDS横浜、ニッパツ横浜FCシーガルズの2チームが前シーズンを超えるべく全力を尽くしている。この5チームの活躍が横浜サッカー活性化の大きな原動力ともいえる。「Breeze」では、この横浜5チームと横浜出身選手の紹介を行い、読者とともに応援していきます。

サッカー団に入っていたので、それについて行っていたことがきっかけだったと思います。自分はまだ幼稚園生だったので、最初はグラウンドの隅で遊んでいるだけだったので、そのうちに混ぜてもらえるようになりまして。そして気がついたらサッカーにのめりこんでいました。

小学校に入学してからは、F・マリノスのスクールと地元の北方SCの両方に通っていましたが、3年生からはセレクションに受かり、F・マリノスの選抜クラス(プライマリ)に入れたので、プライマリ一本になりました。プライマリでは、選手のレベルが格段に上がり、試合に出られない時期など、悔しいこともありました。ライバルに負けないこと、プライマリで生き残って試合出場を勝ち取るためには、どうすればいいか、自分のストロングポイントは何なのか、常にサッカーのことを考えていました。

プロを意識したのは、具体的にいつかは覚えています。が、小学生のかなり早い時期から、誇りではなく、自分からプロサッカー選手になるんだらうなどというイメージを持っていました。だからこそ、実際にプロになるために、プロになるまでに、自分は何をしなければならぬかを必死に考え、その準備を進めていました。そして、厳しいことも

一般的に教養を身に付けることも、社会に出る上で絶対に必要なことだと思います。個人的には、学ぶ姿勢であったり、どんなことでも自分に取り入れていくことを大切にしています。

この「ブリーズ」を読んでくれている子供たちには、心の底からサッカーを楽しんでほしいです。サッカーが好きで、好きな人がいる、ライバルに負けたくない気持ち、そういう気持ちで年を重ねていくうえで、とても大事になってくると思います。そして仲間を大切にしたいです。小さいころ一緒にサッカーをしていた仲間は、22歳の今でも昔と同じように大切な仲間なので、皆さんも仲間を大事にしてほしいです。そういう仲間達と切磋琢磨しながらサッカーを楽しんでください。

自分から課してきたつもりです。だからといって小学校年代に限らず、プロサッカー選手になるまでは、勉強も疎かにならないようにしていました。より多くの時間をサッカーに注ぎたかったので、勉強は学校にいる時にできるだけ集中してやるようにしていました。また、学校の勉強だけでなく、



© YFM

## 創設20周年を「J1」で 横浜FC

横浜FCは1998年にチームを創設。来シーズン2018年にはチーム創設20周年を迎えます。「チーム20年目のシーズンをJ1リーグで迎えたい」。そんな強い思いをもって、クラブ創設19年目の2017シーズンを1分1秒、目の前の一瞬を大切に、覚悟と情熱、信念を持ち、そしてプライドを胸にいただき「BE BRAVE」のスローガンのもと横浜FCの持続的な発展の流れを作るべく、クラブに関わる全ての人々とポジティブな心をつにし、J2ナショナルを目指し、J1自動昇格を実現するための一試合一試合を大切にしながら、リーグ戦を戦っています。



ゴールして喜ぶ横浜FCイレブン(上)  
 横浜出身の高丘陽平選手(下)  
 写真提供・横浜FC

小学校時代に所属していたあざみ野FCには、当時キーパーコーチがいたのでその存在も非常に大きかったと思います。

5年生でキーパーをはじめ、すぐに横浜市の選抜にも選んでもらいました。その時にこれから先はずっ

「ジュニア時代に決意 高丘陽平選手」

小学校時代に所属していたあざみ野FCには、当時キーパーコーチがいたのでその存在も非常に大きかったと思います。

5年生でキーパーをはじめ、すぐに横浜市の選抜にも選んでもらいました。その時にこれから先はずっ

## ジュニア時代に決意 高丘陽平選手

今シーズンの一番の目標はチームがJ2で優勝してJ1に昇格することです。

個人的には、今シーズン試合に出場が出来るの、それを続けていきたいという思いがあります。

ゴールキーパーが最後まで守って失点しなければチームは負けないので、そのためにチームのために最後まで必死に戦って、勝利のためにゴールを守りたいと思います。

## ハーフタイム

イラク戦を終え、W杯出場に向けてスリリングな展開となってきた。思えばW杯出場があたり前と思える様になったのは、いつの頃からだろうか？それは、ドーハの悲劇を乗り越えた頃ではないだろうか？その場にもいた、今年現役プレイヤーとして50歳を迎え世界からも絶賛されている三浦知良選手は、夢だったW杯に日本も行けると確信させてくれた選手の一人だ。三浦知良選手がサッカーを始めたのは小学生時代のことだが、中学生時代には既にブラジル行きを決意していたとのことだ。日本人が海外でもプロになれることを証明してくれた一人でもあり、若くして世界レベルで評価されるようになった若手選手達に道を示した先駆者でもあった。横浜では年に数回キッズ大会が開催され、毎回多くのキッズが楽しそうにピッチを駆け回っている。幼稚園時代からサッカーを楽しむ環境が整ってきた現在、三浦知良選手に続くレジェンドが現れることを期待している。(平)

# 全力でゴールめざせ!!

## 横浜サッカー活性化の原動力に

### 「一丸」でより飛躍を

#### Y.S.C.C.

1986年に立ち上がった私たち、Y.S.C.C.は、昨年クラブ設立30年を迎えることができました。

これもクラブの活動趣旨に深いご理解、ご支援をいただきました協関係者の皆さま、対外試合など切磋琢磨させていただきました皆さまの支えによるものと、スタッフ一同感謝しております。ありがとうございます。

さて、4シーズン目を迎えたJリーグ参戦。街クラブからJリーグに駆け上がり、プロフェッショナルのステージで、厳しい洗礼を受けながらも、手抜きなくスタッフ・選手たちは戦ってきましたが、不意な3年連続最下位という厳しい現実を突き付けられました。

参戦時より甘く考えることはありませんでしたが、流石



©Y.S.C.C.

は「一丸」。目標は最下位脱出です。また、次の30年に向けたチャレンジを意識し、プロフェッショナルな興行への対応として、強化を念頭に、ヨーロッパより選手の獲得、実績ある選手のレンタル移籍選手を獲得し、強化に努めます。

Jリーグという日本最高峰のフットボールリーグに所属し、それに満足することなく、子どもたちに夢と希望を抱いてもらうために、今後も力強く戦っていきます。そして、クラブ運営の根幹である「地域」のお役に立てるよう日々努力を重ねていきますので、各カテゴリーとの交流をお願いする

とともに、Jリーグで戦う選手たちの応援を頂戴できれば幸いに存じます。

### 地域に元気を 金子大晟選手



今シーズン、U18より昇格しました。子どもの頃からの憧れの舞台で、大きく飛躍し、地域に元気を届けたいと思います！ 応援よろしくお願います。

が実り、旭区が泉区を2-1で制し、初優勝を遂げた。

### フットボール スーパーキッズ大会

今年度最初のYFAスーパーキッズゲームGoal28が6月25日(日)に日産フットボールパークと日産フィールド小机で開催された。

この大会には44チーム513名の元気なちびっこが参加。フットボールあふれるプレーが繰り返された。



### 昇格圏内をめざして ニッパツ横浜FCシーガルス



©YOKOHAMA FC

2017年のチームスローガンは「BE BRAVE」(一心)です。これは、選手・チームスタッフ・フロントなどクラブに関わる全ての人々とポジティブな心をひとつにして目標を実現することです。チームは2013年の活動開始以来、順調にステップアップしてきました。なでしこリーグ2部に昇格した昨季は、レベルの違いに戸惑うこともあり、下位に低迷しました。今季は、これまで戦ってきた選手にもう一度チャレンジの機会を与えたいとの思いから、

一人も補強せず全員を残しました。しかし、シーズン途中に能代谷監督が体調不良で辞任するというアクシデントに見舞われ、コーチが監督代行を務める事態になりました。クラブは6月14日、より高いレベルを目指せる指導者としてJリーグで活躍した神野卓哉氏を監督に迎えました。シーガルスは現在、なでしこリーグ2部の下位に位置していますが、カップ戦(6月3日~8月6日)を通して、チームを立て直し、昇格圏内を目指します。

明るいニュースは、育成組織から昇格した生え抜きの佐藤渚がU-19日本女子代表のアメリカ遠征(5月16日~26日)メンバーに選ばれたことです。彼女には次のフル代表を期待しています。

す。進化(深化)し、変化を遂げる私たちのクラブを二期

待ってください。

### 平成28年度事業報告など承認

#### 平成29年度定時総会

(二社)横浜サッカー協会は6月22日、定時会員総会を開催した。同総会では、平成28年度事業報告、平成28年度収支決算が審議され、原案通り可決した。

また、平成28年度公益目的支出計画実施報告書が報告された。

平成28年度事業報告での主な概要として、①主権主管理業等として、新規事業で「レ

### 旭区選抜が初優勝

#### 第20回横浜市区選抜大会(マリノス杯)

これまで夏休みが始まる7月中旬に開催されていたが今年度は学期初めの4月開催となった。区によってはチー

ムを立ち上げたばかりのスタートとなったところもあった。だが1回戦から僅差の好ゲームが多くみられた。

横浜市内18区の選抜チームの大会で、トーナメント方式で行われた。4月1日(日)よこフットボールパーク、平戸永谷遊水地、横浜MMスポーツパークで1回戦を行い、2日(日)海田公園で準々決勝、準決勝を行いベスト4が決まり、旭区と泉区の決勝対決となった。4月9日、日産フィールド小机で3位決定戦と決勝が行われ、都筑区選抜が港北区選抜を下し3位を決めた。

決勝戦は雨の中、スリッピいな天然芝に戸惑いながらも粘り強い守備とカウンター攻撃

### 地域を基盤としたクラブ力 日体大FIELDS横浜



サッカーが強いクラブとは、競技力だけでは計り知れません。永きにわたって競技力を維持し、磐石な体制を整備するにはクラブと地域の力が不可欠だと考えます。日本体育大学を拠点としたクラブを、地域の人々と手を取り合って育んでいく事が長期的な強化策だと信じています。

日体大FIELDS横浜は積極的交流を推し進めています。グラウンドが所在している鴨志田町のガソリンスタンドの方々や地域の野菜を用いてお弁当販売をしている方、そしてその仲間の方々などがクラブの心意気に賛同してくださり、今では家族のように選手やスタッフ、そしてクラブを応援してくれています。

日体大FIELDS横浜は競技力のみならず、地域を基盤としたクラブ力も青葉区というフィールドで天高く蹴り上げたいと意気込んでいま

### 平成28年度市民リーグ 優勝チームを表彰

#### 社会人委員会登録総会

平成29年度社会人登録総会が、5月14日(日)関内ホールで行われた。昨年度の市民リーグ優勝チームが表彰され、賞状と記念のボールが贈られた。また1年間幹事としてリーグを運営して下さったチームの代表者に記念品が贈られた。登録チームが今年度は100チームを下回った。Jリーグ開幕の頃、爆発的に増えたチーム数もここ数年100数

チームで推移していたが選手

の年齢が高くなったり、仕事や家庭の事情でなかなか人数が揃わなくなったりと解散にしま

す、と長い間横浜で活動していたチームから連絡があった。寂しい。何らかの形でサッカーに関わってほしいと思

平成28年度市民リーグ優勝

チームは次の通り。

- IFTY CLUB、1B・港北FC、1C・かながわクラブ、1D・VERDREER
- O港北、2A・横浜猛蹴LE GEND、2B・Fuzzzy、2C・横浜市役所サッカー部
- 2D・蹴る蹴るケルメ、2E・CLUB ATELITICO
- UMOJA、3A・SSC、3B・クラブテアトロ、3C・FC東球、3D・FONTE
- NSE

### 法人会 員 一 覧

- 横浜マリノス(株)
- 神奈川新聞社
- (株)横浜シミズ
- 横浜食品開発(株)

- JFE東日本ジーエス(株)
- (株)横浜アーチスト
- (有)フリースタイル
- 富士ゼロックス神奈川(株)